

主な記事

- ・第24回高知市少年非行防止ポスター展について
- ・子育てを考えるシリーズ55

補導センター便り

高知市塩田町 18-10
 保健福祉センター 2階
 高知市少年補導センター
 電話 088-824-6671
 FAX 088-824-6816
 E-mail: kc-200900@city.kochi.lg.jp
 発行人 吉川 佳余

第24回 高知市少年非行防止ポスター展

少年非行防止ポスター展は、中学生自身の非行防止に対する意識を高めるとともに、その作品を広く市民の方に発表し、啓発を図ることを目的として実施しています。

本年度は、県内14校から614点の応募がありました。喫煙、飲酒、薬物、万引き、自転車盗難等の防止を訴える作品のほか、いじめ、ネットトラブルにかかわるテーマの作品も多く見られました。

厳正な審査の結果、特選4点、優秀6点、優良20点、入選36点、佳作62点を選考し、令和6年11月12日（火）に高知市青年センターにおいて、特選・優秀受賞者の表彰状授与式を行いました。

また、特選・優秀・優良の30作品については、令和6年11月21日（木）から12月4日（水）までの間、オーテピアで展示を行いました。



【表彰状授与の様子】



たくさんのご応募ありがとうございました！

特選・優秀作品のご紹介



【特選】 城北中学校 3年
 高見 咲陽子さん



【特選】 城東中学校 3年
 高橋 信さん



【特選】 介良中学校 3年
 大石 優花さん



【特選】 加茂中学校 3年
 神原 紀美子さん



【優秀】 潮江中学校 2年
 高橋 咲帆さん



【優秀】 大津中学校 3年
 竹内 優咲さん



【優秀】 城東中学校 2年
 中田 侑里さん



【優秀】 城東中学校 3年
 山田 翔生さん



【優秀】 学芸中学校 3年
 青木 瞳実さん



【優秀】 学芸中学校 3年
 佐々木 りこさん

特選・優秀・優良の皆様（敬称略）

受賞者の皆様 おめでとうございます！ 



【特選・優秀受賞者と永野教育長(左)吉川所長(右)】

学芸中	学芸中	城東中	城東中	大津中	潮江中	【優秀】	加茂中	介良中	城東中	城北中	【特選】
3年	3年	3年	2年	3年	2年		3年	3年	3年	3年	
佐々木	青木	山田	中田	竹内	高橋		神原	大石	高橋	高見	
りこ	瞳実	翔生	侑里	優咲	咲帆		紀美子	優花	信	咲陽子	

受賞作品は、ポスターやチラシなどの広報活動に活用させていただきます。

学芸中	学芸中	学芸中	学芸中	学芸中	学芸中	城東中	高知中	高知中	青柳中	青柳中	愛宕中	【優良】							
3年	2年	1年	1年	1年	2年	1年	3年	3年	2年										
中谷	中田	田村	勝木	青木	山崎	森	三好	濱田	橋本	西岡	澤本	富永	井戸本	渥美	星澤	中山	和田	磯村	明神
友妃寧	芽衣	凜	美心	薫子	藍加	瑞季	梨子	瀬里那	亜菜	詩音	楓花	芽生	莉乃	佑香	南菜子	陽斗	絆那	蓮	すみれ

特選受賞生徒にインタビュー「作品に込められた想いを教えてください」



最近、私の周りの友達に自撮り写真や個人情報などをインターネットに載せている人が多いように感じました。現代のインターネットが普及した社会では、知らない間に自分の情報が不正に利用されてもおかしくありません。そういった被害にあう前にリスクに気づいてほしいという思いからこの絵を描きました。

自転車スマホをしていてうっかり人をはねることは、いくらうっかりでも許されることではないということを世の中にわかってほしかったです。そもそも自転車に乗りながらスマホを使用するのは非常識だと世の中にわかってほしかったからこの絵を描きました。



この絵は、自分よりも年下の子どもがいじめで苦しんでいる気持ちを表現しました。字も中の絵も子どもが描いているようにするためにクレヨンを使いました。周りがある丸められた紙が伝えられない思いを表しています。

最近闇バイトや万引きなど、一つの油断で犯罪を犯してしまう人が多いように感じます。「これぐらいならバレない」という先入観を持たず、悪い心に染まってしまうよう気を付けていきたいと思い、心を込めて描きました。





「地域とともにある学校」

春野中学校 校長

小川 真悟



【春野コミュニティ・スクール】

春野中学校に赴任してからの4年、私は「コミュニティ・スクール」を学校経営の柱に据えて、地域ぐるみ教育に取り組んでいます。「コミュニティ・スクール」というと、それほど聞き慣れた言葉ではないと思いますが、この制度を導入することで、学校・家庭・地域が目標・ビジョンを共有し、連携・協働して地域の子どもの成長を育む体制が可能になります。この協議会で、教職員、保護者、地域の代表者が、「学校の課題や改善策」「特色ある学校づくり」等について熟慮と議論を重ねます。それぞれの立場で、どうすれば良いか知恵を出し合い、よりみんなが納得のいく解を導き、合議体として意志決定して実践します。学校が抱える問題も多様化・複雑化し、学校のみで解決するのも厳しい問題も多くあり、家庭、地域と一緒に考えて、解決する体制が必要です。

今までは、学校の教職員のみで協議し、校長のリーダーシップのもと取組を行い、保護者や地域の方々がその取組を評価するのが主な体制でしたが、この制度の導入で、保護者・地域の方々も当事者として実践し、改善・評価まで行うことが可能になります。法律に基づいている制度だからこそ、学校・家庭・地域が、子どもの成長と幸せのために、チームとして取り組む体制を確立できる、これがコミュニティ・スクールの最大の強みだと思います。



【春野がめざす子どもの姿】

コミュニティ・スクールをスタートするにあたり、春野では、「春野がめざす子どもの姿」を策定しました。これは、「中学校卒業までに何ができるようになりたいか？」に対する中学生の思いを大切に、保護者や教職員、地域の皆さんの意見を集約させる過程を重視し、みんなで創り上げた「春野がめざす子どもの姿」となっているところに大きな意義があります。テーマとしては「チャレンジ精神・コミュニケーション力・自尊他尊・学力向上・郷土愛」の5つと決定しました。

そして、各5つのテーマにおいて、園、小、中と各発達段階におけるめざす姿を「評価規準」として策定し、その「評価規準」を実現するために、各教職員や保護者、地域の方々が、それぞれ当事者として実践する内容を「アクションプラン」として策定しました。このみんなで策定した「春野がめざす子どもの姿」こそが、春野の教育方針の根幹をなすもので、これを策定・共有・実践することで、春野の子どもの成長を、園→小→中とストーリー性をもって、そして地域ぐるみで育むことが可能になります。



春野がめざす子どもの姿と取り組み



テーマ 付けるべき力	めざす子どもの姿 (資質・能力)		
	児童	小学生	中学生
チャレンジ精神 挑戦する気持ちや姿勢	自分や他人の力を借りることや、自らで決めたり、挑戦的に行動できる児童	色々なことに関心を持ち、失敗しても、もう一度挑戦する児童	主体的に挑戦し、成功や失敗を学びとして、夢に向かって努力することができる児童
コミュニケーション力 考えを伝える力や情報を受け取る力	人との関わりや前向きな姿勢を察し、心を通わせる児童	異文化に寛容で、互いの価値観ややり方を理解できる児童	心のこもった挨拶や通じ難い表現の場面で、「聞く・伝える」と互いに協力できる児童
自尊・他尊 自分や他人の存在を大切にできる姿勢	自分や他人の存在を大切にできる児童	自分や他人(友人)の存在に気づき、自分や他人を大切にできる児童	自分や他人を大切にでき、自分自身に誇りを持って行動できる児童
学力向上 自ら学び、自ら考える力	友だちと一緒に学び、工夫しながら学ぶことができる児童	めあてを定めて主体的に学習に取り組む、量感や意欲を高めることができる児童	学びの楽しさや興味関心をもち、粘り強く問題解決に取り組むことができる児童
郷土愛 生まれ育った郷土に対する愛着	地域の誇りや愛着を大切にできる児童	郷土が大好きで、郷土の歴史や文化や産業を愛敬できる児童	地域を愛し、地域に貢献できる児童

実現のための取り組み (アクションプラン)						
園(教職員)	小学校(教職員)	中学校(教職員)	中学校(生徒)	家庭	地域	
チャレンジ精神	◆子どもの興味関心のあることについて、心を開き、関わりあうこと。 ◆心を開き、関わりあうこと。 ◆心を開き、関わりあうこと。	◆児童の自主性を生かした活動を実施する。 ◆夢に向かって努力することができる児童を育てる。	◆生徒が自分自身で決断する機会を創出する。 ◆夢に向かって努力することができる児童を育てる。	◆失敗してもその経験を生かして、再度挑戦する機会を創出する。 ◆夢に向かって努力することができる児童を育てる。	◆子どもが自ら挑戦する機会を創出する。 ◆夢に向かって努力することができる児童を育てる。	◆大人が生活態度や行動を模範とする。 ◆夢に向かって努力することができる児童を育てる。
コミュニケーション力	◆異文化や異なる価値観を尊重し、互いの価値観ややり方を理解できる児童を育てる。	◆異文化や異なる価値観を尊重し、互いの価値観ややり方を理解できる児童を育てる。	◆異文化や異なる価値観を尊重し、互いの価値観ややり方を理解できる児童を育てる。	◆異文化や異なる価値観を尊重し、互いの価値観ややり方を理解できる児童を育てる。	◆異文化や異なる価値観を尊重し、互いの価値観ややり方を理解できる児童を育てる。	
自尊・他尊	◆自分や他人の存在を大切にできる児童を育てる。	◆自分や他人の存在を大切にできる児童を育てる。	◆自分や他人の存在を大切にできる児童を育てる。	◆自分や他人の存在を大切にできる児童を育てる。	◆自分や他人の存在を大切にできる児童を育てる。	
学力向上	◆夢に向かって主体的に学習に取り組む児童を育てる。	◆夢に向かって主体的に学習に取り組む児童を育てる。	◆夢に向かって主体的に学習に取り組む児童を育てる。	◆夢に向かって主体的に学習に取り組む児童を育てる。	◆夢に向かって主体的に学習に取り組む児童を育てる。	
郷土愛	◆地域の誇りや愛着を大切にできる児童を育てる。	◆地域の誇りや愛着を大切にできる児童を育てる。	◆地域の誇りや愛着を大切にできる児童を育てる。	◆地域の誇りや愛着を大切にできる児童を育てる。	◆地域の誇りや愛着を大切にできる児童を育てる。	

コミュニティ・スクールになるとこんないいことがあるんだよ!

子どもたちにとって

- ◆子どもたちの学びや生活環境が充実し、「春野がめざす子どもの姿」の実現が期待できます。
- ◆防災・防災対策の充実で、安心・安全な生活が送れます。

保護者にとって

- ◆地域の人材を活用した教育活動ができます。
- ◆地域の協力により子どもたちと密な関わりが実現できます。

教職員にとって

- ◆地域の人材を活用した教育活動ができます。
- ◆地域の協力により子どもたちと密な関わりが実現できます。

地域の人たちにとって

- ◆地域を愛し、地域に貢献できる児童を育てる。
- ◆地域の発展に貢献できる児童を育てる。

【地域ぐるみで子どもの成長を育む】

春野では、「春野がめざす子どもの姿」を実現するために、具体的に実践する組織として「春野町地域学校協働本部(春野っ子を育てる会)」を設置しています。令和6年度は教職員、保護者、地域の76名から組織され、年2回の協議会を開催し、多くのボランティアの方々を巻き込みながら学校づくりと地域づくりを進めています。このコミュニティ・スクールの制度を導入して、春野中学校で特に学びが深まっている取組に「防災の日」があります。防災に関する知識や技能を身に付けるため、地域の方や地元企業、関係者の皆様、約60名の参画をいただき、学びを充実させることができている。学校だけではできない学びを実現できることもこの制度の強みであると言えます。



他にも、春野の10の職種の方を講師として迎え、キャリア教育の一環として行う「職業人に聴く」、地域の方々40名を講師として招き、地域の工芸文化を体験する「一日先生」に取り組んでいます。地域の参画で学びが年々充実していることを実感しています。

また、登下校の見守りや行事の際の駐車場の整理、愛校作業への参加等、地域の皆様には様々な機会にお力添えをいただき、そのことが教職員の子どもと向き合う時間の確保にもつながっています。

【地域とともにある学校】

地域とともにある学校とは、学校、保護者、地域が育てたい子ども像の実現のために協働できる学校だと思っています。教職員には人事異動がありますが、コミュニティ・スクールの取組により、その人事異動に左右されない体制を創り上げることが可能だと考えます。今後も保護者や地域の方々に学校運営に参画していただけるこの制度を活用し、学校経営を推進し、地域ぐるみで春野の子どもの成長を育む取組を充実していきたいと思っています。